

地方創生（まち・ひと・しごと創生）総合戦略について

1. 笠松町地方創生（まち・ひと・しごと創生）総合戦略策定体制

根拠：まち・ひと・しごと創生法（26 年 11 月 28 日施行）

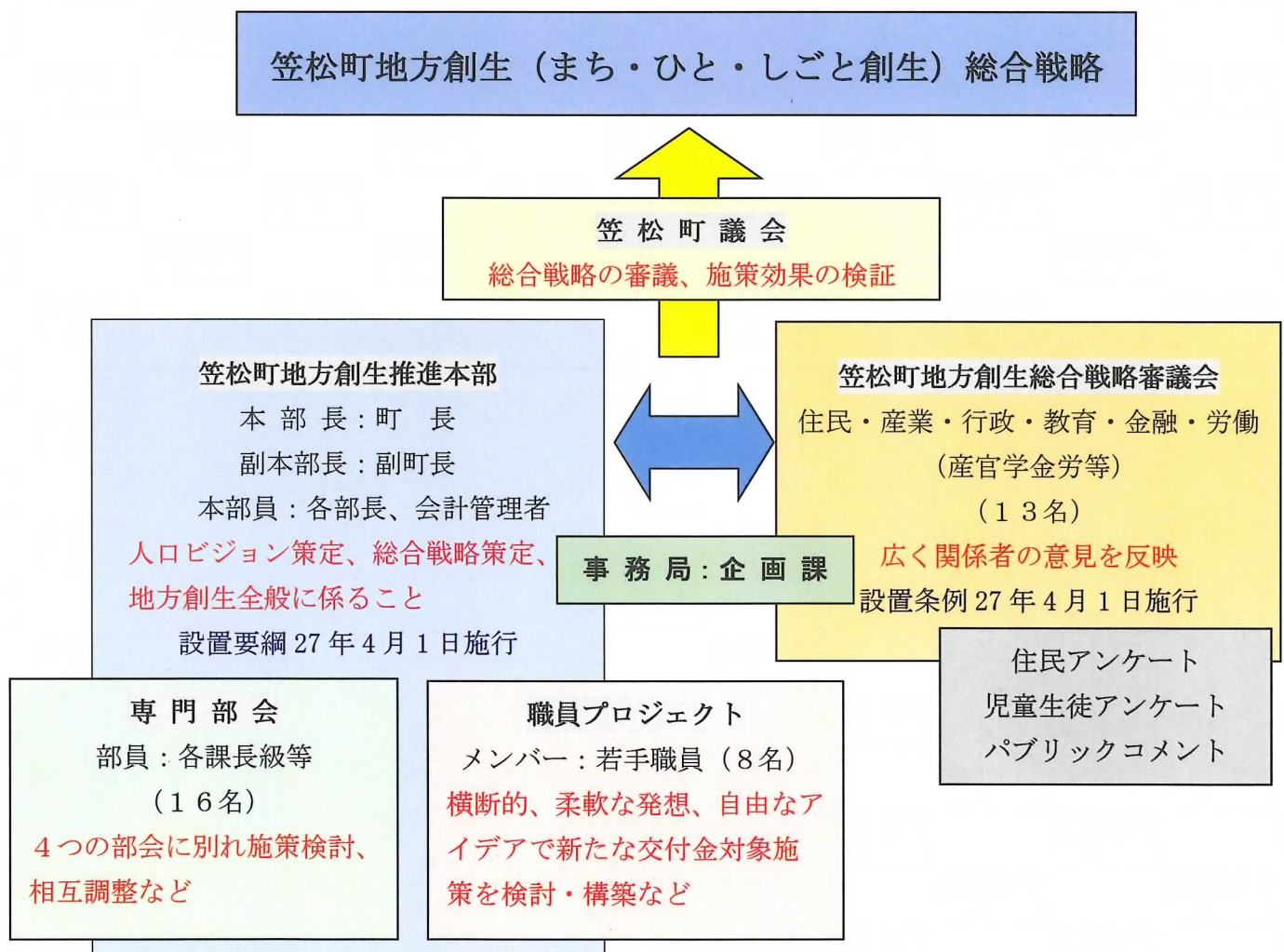
第 10 条 市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定するよう努めなければならない

内容：団体における人口の現状と将来の展望（2,060 年又は 2,040 年まで）を提示する地方人口ビジョンを策定、5 年の目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめたもの

期間：27 年度から 31 年度の 5 年間（国戦略期間と歩調を合わせる） 27 年 10 月完成予定

留意事項：

- ・策定には住民・産業・行政・教育・金融・労働（産官学金労等）による組織で審議し、広く関係者の意見が反映されるように
- ・策定段階や効果検証において議会とも十分な審議を
- ・次に定める国の政策分野を参考に地方の政策分野を定め、5 年後の基本目標を設定する
 - ①地方における安定した雇用を創出する
 - ②地方への新しい人の流れをつくる
 - ③若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
 - ④時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する
- ・施策ごとに、客観的な重要業績評価指数（KPI）を設定する



2. 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金について

- ・26年12月27日経済対策閣議決定以後及び26年度予算に計上された事業に限定
- ・27年3月議会にて予算計上、繰越明許にて27年度の事業実施に

A. 地域消費喚起・生活支援型 交付額 31,122千円

20%のプレミアム商品券発行:商工会「プレミアム商品券発行事業」補助金

販売価格：千円券×12枚綴り1冊1万円 運営主体：商工会

販売総数：14,000冊 (総消費額 1億6,800万円)

経 費：プレミアム分 2,800万円 換金手数料(額面の1%) 168万円

商品券印刷・その他経費 302万円 事後調査費 30万円 総計 3,300万円

有効期間：7月1日～12月31日(「資金決済法」により6ヶ月間が限度)

販 売：6月6日予約受付開始、6月19日予約受付終了、6月24日予約先行販売開始

そ の 他：8月と12月に「お楽しみ抽選会」を実施、賞品総額約20万円×2回を予定

B. 地方創生先行型 交付額 25,766千円

①総合戦略策定：5,432千円(委員報酬、食糧費、委託料)

策定支援業務委託(住民アンケート・会議運営支援・人口推計策定等・計画書製本等)、審議会委員報酬、会議費等

- ・策定支援業務委託は「指名型プロポーザル」により業者選定(6月1日：推進本部にて)

②歴史未来館の魅力向上：8,000千円(アプリケーション作成委託)

町の歴史や自然、産業・科学の魅力を伝える館内無線LANを活用したスマートフォン用ARアプリケーションやコンテンツを整備、ふるさと笠松の再認識及び航空宇宙産業等への関心を高める

- ・先進事例「関ヶ原町歴史民俗資料館ARによる動画等閲覧」を視察、作成業務委託は「指名型プロポーザル」により業者選定予定(7月：推進本部にて)、28年1月末完成予定

③子育て家庭の防災対策強化：1,000千円(冊子作成・啓発事業経費・防災備品購入)

乳幼児や妊婦、児童生徒とその保護者の防災意識が向上する様々な啓発事業の推進及び幼児・妊婦・児童生徒が安全で安心して避難活動が出来る防災備品を整備し、防災面からも子育て世帯を応援する

- ・6月17日笠小にて親子防災授業実施(講師：町防災士)、秋頃に防災パンフレット配布及び啓発事業の実施を計画

④英語教育の拡充：11,448千円：(ALT2名派遣委託)

町内保育所(園)幼児、小学校児童、中学校生徒が活きた英語に触れ・学ぶことを目的に、ALTを派遣、早くから国際コミュニケーション能力の習得を図る

- ・「指名型プロポーザル」により業者決定、4月10日に㈱アルティアセントラルと契約
- ・各保育所へ月1回、年間11回訪問を計画(訪問時間は午後14:45分程度)

③子育て家庭の防災対策強化：笠小にて親子防災授業（6月17日）



④英語教育の拡充：下羽栗保育所（年長クラス）ALT訪問（6月17日）

